



公益財団法人 先端医療振興財団 臨床研究情報センター

〒650-0047 神戸市中央区港島南町1丁目5-4

Tel: 078-303-9095 Fax: 078-306-1012

<http://www.tri-kobe.org>

2013年1月15日発信

文部科学省 橋渡し研究加速ネットワークプログラム
平成24年度成果報告会
—イノベーションをマーケットへ—
開催のお知らせ

(公財)先端医療振興財団(神戸市中央区)は、全国の橋渡し実施7拠点(北海道臨床開発機構(北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学)、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学)とともに、3月2日(土)午前10時から、東京・丸ビルホールにて、「文部科学省 橋渡し研究加速ネットワークプログラム 平成24年度成果報告会 イノベーションをマーケットへ」を開催いたします。

ライフサイエンス・イノベーションの切り札として平成19年度に開始した文部科学省の「橋渡し研究支援推進プログラム」(第1期プログラム)は、全国の橋渡し実施7拠点から「治験届提出16件」、「保険医療化2件」、「ライセンスアウト15件」、「先進医療承認7件」、「製造販売承認申請4件」、「製造販売承認取得2件」と、大変多くの成果を挙げました。(詳細は別添資料をご参照ください。)

この第1期プログラムを引継ぐ文部科学省プログラムとして平成24年度から開始された橋渡し研究加速ネットワークプログラムは、各拠点から3件、全7拠点で合計21件の治験を開始することを目標にしています。また第1期に整備された橋渡し研究支援基盤及びR&Dパイプラインを活用することにより、全国の橋渡し実施7拠点をネットワーク化し、医薬品・医療機器分野のシーズ開発をより加速化いたします。

本報告会では橋渡し研究加速ネットワークプログラムの1年目を総括するとともに、各拠点からのシーズ成果報告として医薬品、医療機器、再生医療に関する22シーズを取り上げ、得られる成果の見通しと意義について、皆さまと討議する機会にしたいと考えております。

また、会場では各拠点におけるシーズ情報および提供可能なサービス等を掲載したカタログ(日本語/英語)を配布いたします。本報告会を広く各界にご案内いただくとともに、万障お繰り合わせの上、ご参集いただきますよう何卒宜しくお願い申し上げます。



- 【概要】 ■タイトル：文部科学省橋渡し研究加速ネットワークプログラム
平成 24 年度成果報告会 イノベーションをマーケットへ
- 主催：(公財) 先端医療振興財団
- 共催：北海道臨床開発機構（北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学）、東北大学、
東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学
- 日時：平成 25 年 3 月 2 日（土）10：00-16：50
- 会場：丸ビルホール（東京都千代田区丸の内 2-4-1 丸ビル 7 階）
- 申込み：1 月 15 日(火)よりオンライン登録 (<http://www.tr.mext.go.jp/>)
または FAX による事前申込み
※取材の場合は別紙の取材申込書を別途送付してください。
- 参加：先着 300 名、無料

<リリースに関するお問い合わせ先>

(公財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター 事業推進部 渉外・広報グループ あまたつ 天辰
TEL：078-303-9095 E-Mail：tri-pr@tri-kobe.org

※別紙

- ・ 文部科学省「橋渡し研究支援推進プログラム」(第1期プログラム)登録シーズの開発実績 1 部
- ・ 取材申込書 1 部
- ・ プログラム 1 部

第1期プログラム登録シーズの開発実績

(文部科学省 橋渡し研究支援推進プログラム)

(H19年8月～H25年1月1日)

治験届提出 (18) (下線は医師主導治験)		ライセンスアウト (15)		先進医療承認 (7) (A、B/旧第2、3項)	
<u>人工手関節</u>	北海道	GVHD 体外診断薬	北海道	臍島移植	東北・京都
<u>人工股関節</u>	北海道	金マーカ刺入キット	北海道	遠赤外線乾式均等温装置	東京
<u>SVN-2B ペプチドワクチン</u>	北海道	放射線治療動体追跡装置	北海道	bFGF+GHG	京都
<u>Nアセチルノイラミン酸</u>	東北	胃癌アッセイキット	北海道	レプチン	京都
HGF	東北	トレハロース	東京	γδ T細胞	京都
トレハロース	東京	ナノミセル	東京	エポエチンβ	大阪
頻脈治療薬	東京	培養骨芽細胞様細胞	東京	脊髄損傷治療技術	大阪
<u>小児補助人工心臓</u>	東京	レプチン	京都	自家培養口腔粘膜細胞シート	大阪
<u>人工真皮</u>	京都	チタン運動器デバイス	京都	製造販売承認申請 (4)	
<u>レプチン</u>	京都	人工真皮	京都	金マーカ刺入キット	北海道
<u>抗体 (癌領域)</u>	京都	HVJ-E	大阪	内視鏡手術ナビゲーター	北海道
筋芽細胞シート	大阪	筋芽細胞シート	大阪	放射線動体追跡装置	北海道
WT1ペプチドワクチン	大阪	WT1ペプチド	大阪	レプチン	京都
<u>細胞分離装置</u>	財団	BK-UM	大阪	製造販売承認取得 (3)	
<u>膝関節軟骨再生</u>	財団	生体吸収性 GBR 膜	財団	ベクトル表示変換心電図計	東京
<u>PLGA ナノ粒子</u>	九大	保険医療化 (2)		内視鏡手術ナビゲーター	北海道
<u>胎児心電図装置</u>	東北	内視鏡手術ナビゲーター	北海道	金マーカ刺入キット	北海道
<u>BK-SE36/CpG-ODN</u>	大阪	金マーカ刺入キット	北海道		

(公財)先端医療振興財団 橋渡し研究支援拠点サポート室

文部科学省 橋渡し研究加速ネットワークプログラム
—— 平成24年度成果報告会 ——
イノベーションをマーケットへ

取材事前登録について

取材を希望される方は、下記記載の事項をご一読の上

次頁の取材申込書をFAXもしくはE-Mailにて、ご提出下さいますようお願いいたします。

※ 当日は報道関係者受付までお越し下さい。プレスカードをお渡しします。

※ 報道関係者席は数に限りがありますので、お早めにお申し込み下さい。

取材申込み受付 FAX番号 : 078-306-1012

E-Mail : tri-pr@tri-kobe.org

〈取材についてのお願い〉

- ・会場内では必ずプレスカードをご着用下さい。(当日、報道関係者受付でお渡しします。要返却)
- ・各講演における撮影は、最初の3分間のみ可能です。
- ・フラッシュ撮影など、講演の妨げとなる行為はご遠慮ください。
- ・当日、及び事前事後の講演者への取材に関しては、個別に講演者に直接ご相談ください。

〈掲載記事の送付、お問い合わせ先について〉

- ・新聞・雑誌等の場合は記事を下記〈掲載記事の送付先〉までお送りください。
- ・テレビ、ラジオで放送される場合は、放送予定日を事前にご連絡下さいますよう、お願い致します。

掲載記事の送付先

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 1-5-4

先端医療振興財団 臨床研究情報センター

事業推進部 広報担当 行

TEL: 078-303-9095

E-mail: tri-pr@tri-kobe.org

文部科学省 橋渡し研究加速ネットワークプログラム 広報担当 行

FAX:078-306-1012 E-Mail:tri-pr@tri-kobe.org

文部科学省 橋渡し研究加速ネットワークプログラム
—— 平成24年度成果報告会 ——
イノベーションをマーケットへ

取材申込書

番組・紙誌名			
属性	<input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 雑誌 <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> Web マガジン(URL:) <input type="checkbox"/> メールマガジン <input type="checkbox"/> その他()		
放映・掲載予定日			
御社名			
部署名			
ふりがな		役職名	
氏名			
TEL		FAX	
E-mail			
住所	〒		

【取材者名】 取材者全員の氏名をご記入ください。

平成24年度成果報告会

イノベーションを マーケットへ

先着
300名
参加無料
事前申込み必要

参加申込
URL <http://www.tr.mext.go.jp/>
TEL.078-261-8141 FAX.078-261-2361

日時 2013年 **3月2日(土)** 10:00~16:50
(9:30 開場)

場所 **丸ビルホール(丸ビル7F)**
東京都千代田区丸の内2-4-1/JR東京駅徒歩1分
<http://www.marunouchi-hc.jp/hc-marubiru/>

プログラム

- 1 10:00~10:05...文部科学省挨拶
- 2 10:05~10:10...プログラムディレクター挨拶
プログラムディレクター 猿田 享男
- 3 10:10~10:20...サポート機関からの報告
橋渡し研究支援拠点サポート室 福島 雅典

- 4 各拠点からの報告 (発表10分・質疑5分)
 - 10:20~10:35...「オール北海道先進医学・医療拠点形成」
北海道臨床開発機構
 - 10:35~10:50...「医工連携を基盤としたトランスレーショナルリサーチ拠点形成」
東北大学
 - 10:50~11:05...「先端医療の開発を加速する支援拠点形成と実践」
東京大学
 - 11:05~11:20...「持続可能なネットワーク型中部先端医療開発拠点の形成」
名古屋大学
 - 11:20~11:35...「創薬・新規医療開発のアカデミア拠点強化」
京都大学
 - 11:35~11:50...「TR実践のための戦略的高機能拠点整備」
大阪大学
 - 11:50~12:05...「創造的次世代医療実現化を担うAROの構築」
九州大学

12:05~13:00... 休憩

- 5 シーズ成果報告
 - 13:00~13:50...<医薬品>(各発表5分)
 - 「遺伝子組換えウイルスを用いたがん治療開発」
東京大学 藤堂具紀
 - 「 $\gamma\delta$ T細胞を標的とした癌免疫療法の開発」
京都大学 湊 長博
 - 「新規前立腺癌治療薬の医師主導試験の推進」
大阪大学 金田安史
 - 「卵巣癌を対象とした分子標的治療薬 BK-UMの臨床開発」
大阪大学 目加田英輔
 - 「急性心筋梗塞症治療用ナノ粒子製剤の実用化のための橋渡し研究」
九州大学 江頭健輔
 - 「虚血肢治療用低侵襲ナノ粒子製剤の実用化」
九州大学 江頭健輔
 - 「高性能国産新規RNAウイルスベクターによる虚血肢治療製剤の開発」
九州大学 米満吉和

.....質疑応答15分.....

- 13:50~14:40...<医療機器>(各発表5分)
 - 「動体追跡陽子線治療の先進医療認可取得」
北海道大学 (北海道臨床開発機構) 白土博樹
 - 「炭素 11 標識メチオニンによる PET 診断」
北海道大学 (北海道臨床開発機構) 玉木長良
 - 「低侵襲手術支援システムの実用化開発と臨床研究」
浜松医科大学 (北海道臨床開発機構) 山本清二

- 「神経・血管温存下に最大限の病変摘出を行う手術用治療器 (パルスウォータージェットメス) の開発」
東北大学 富永悌二
- 「胎児心電図実用化促進のための橋渡し研究」
東北大学 木村芳孝
- 「結紮を必要としない微細縫合糸の臨床応用」
東京大学 小野 稔
- 「皮質脳波を用いたワイヤレス体内埋込型運動・意思伝達機能補填装置」
大阪大学 吉峰俊樹

.....質疑応答15分.....

14:40~14:55... 休憩

- 14:55~15:50...<再生医療>(各発表5分)
 - 「脊髄損傷患者に対する自家培養骨髄間葉系幹細胞の静脈内投与による細胞療法の検討」
札幌医科大学 (北海道臨床開発機構) 山下敏彦
 - 「脳梗塞患者に対する自家培養骨髄間葉系幹細胞の静脈内投与による細胞療法の検討」
札幌医科大学 (北海道臨床開発機構) 本望 修
 - 「患者心臓幹細胞と人工心臓の心不全臨床試験」
京都府立医科大学 (北海道臨床開発機構) 松原弘明
 - 「軟骨と粘膜上皮の複合再建を実現する再生気管軟骨の臨床展開」
東京大学 高戸 毅
 - 「角膜上皮幹細胞疲弊症に対する自己培養口腔粘膜上皮細胞シート移植法の多施設共同臨床試験」
大阪大学 西田幸二
 - 「多能性幹細胞フィーダーフリー培養基材の開発」
大阪大学 関口清俊
 - 「アカデミアのTR拠点が創出する脾臓移植確立のための戦略的アプローチ」
 - (i) 安全で高性能な細胞分離用酵素剤の臨床応用
東北大学 後藤昌史
 - (ii) 新規免疫抑制療法を併用する臨床脾臓移植の開発
福島県立医科大学 (東北大学) 後藤満一

.....質疑応答15分.....

15:50~16:05... 休憩

- 6 16:05~16:15...ネットワーク構築事業について進捗報告
東北大学
- 7 16:15~16:30...アカデミアにおけるシーズ育成と自立化
プログラムオフィサー 景山 茂
- 8 16:30~16:45...企業の立場からアカデミアに望むもの
プログラムオフィサー 稲垣 治
- 9 16:45~16:50...まとめ
プログラムディレクター 猿田 享男

※プログラムの内容は予告なく変更される可能性があります。ご了承ください。

